



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL072-261-1563
FAX072-261-1594

2019年5月号 (2019.4.28 発行)

主に信頼することへの招き

マリア布教修道女会 シスター ルイザ・ゴリ



主イエスを信じているわたしたちにとっては、主に信頼する基礎は、いうまでもなく、主の受難—死—復活のできごとから生じるものです。今日は、聖母マリアの信仰と、3人の方の言葉を考えながら、わたしたちの信仰を深めることになればと願っています。

ご存じのように、1月22日から27日まで、パナマでWYD(ワールド・ユース・デー)が行われました。この大会のテーマは、お告げのときの言葉でした。

「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」(ルカ 1,38)。

マリアは恐れずに主の呼びかけに応えることができたのは、イスラエルの歴史に

「すべてを新たにすることができる神の愛と約束」(教皇フランシスコ)を知っておられ、それに信頼を置いたからです。こうして、マリアは、主への信頼と愛に促されて、歴史上最も影響を与えた女性になりました。

「愛だけがわたしたちにもっと人間らしく満ち足りた人生をもたらしてくれます。他の全ては快くても、無駄な気休めにすぎません」と教皇さまは語りました。

高山右近からくる信頼への招きは、つぎの言葉の中に含まれています。

「これから自分が行く先々に、神はおられないところなど、一つとしてありません。神が共におられるかぎり、どこに行っても故郷に帰るような思いです。」

恐怖に打ち勝つ信仰の力を伝えるために、マルチン・ルター・キング牧師は次の詩を残されました。

「恐怖は戸をたたいた。／信仰が戸を開けると、／もう誰もいなかった。」

教皇フランシスコによる主に信頼への招きの言葉(9月20日2017年)。

+

「暗やみに降伏するな。服従すべき敵は、あなたの外にいるのではなく、あなたの中にいることを心にとめなさい。だから、否定的な考えに負けるな。すべてを創られた神と、すべてをよい方向に導く聖霊と、あなたを愛で包むキリストに信頼しなさい。主があなたを待っておられる。毎日勇気が与えられるように祈りなさい。力強く生きるようにしなさい、愛しなさい。夢をもちなさい、信じなさい。そして、神の恵みによって、決して絶望しないように心掛けなさい。」



TRUSTING THE LORD

The Missionary Sisters of Mary, Sr. Luisa Gori

For us Christians, “trusting the Lord” is possible because we know that the Lord died for us and is risen to save us.

Today let us look up at Mary and her faith and be helped by the faith and trust of three people. As you know, January 22~27 the World Youth Day was celebrated in Panama.

The theme of this event was taken from Mary’s words at the annunciation.

“I am the handmaid of the Lord; let it be to me according to your word”. Mary was able to trust the Lord, because she knew his love and promise along the history of Israel. In this way, Mary became a woman who had a great influence on mankind.

Some words by **Takayama Ukon**. *Wherever I go, I know that there is no place where God is not there. As long as God is present, wherever I go it is like going back home”.*

A poem by **Martin Luther King**, to show the power of faith over fear.

Fear knocked at the door. / Faith opened the door. / No one was there!

Some words by **Pope Francis** (September 29, 2017).

Do not surrender to darkness. Your enemy is inside you, not outside. Let not be beaten by negative thoughts. Trust the Lord. He is waiting for you. Pray to obtain courage. Continue to love and to dream. And with God’s grace, never despair.

<2週続けての 補佐司教様の御ミサでした>

お恵み たくさん ♡

4月7日 パウロ酒井俊弘補佐司教
いずみブロック四旬節合同黙想会の為



4月14日 ヨゼフ・アベイヤ補佐司教
ブラジル信徒の黙想会の予定を早めて、朝から来て下さり、枝の主日のミサの司式をして下さいました。ミサ後も熱心に質問に答えて下さいました。



日常生活を、見直してみましよう。

神様を 悲しませてはいませんか？

苦しめていませんか？

神様は、常に、私達を見守ってくださっています。

未来に向けて、回心して 自分の召し出しに こたえて、

頑張りましよう。

また、この日はカルロス司祭が 最後の日曜だったこともあり、持ち寄り料理で、時間まで楽しく会食を しました。

美味しいお料理をありがとうございました。🌸

除草・植木のご奉仕もありがとうございました

★酒井司教様のこれまでの講話は

<<http://paul.holyring.jp/>> <http://paul.holyring.jp/> の「講話・説教」のコーナーの「2019」の中で、聞くことができます。

<御復活おめでとうございます>

<受洗・受堅 おめでとうございます>

マリア A.Kさんが受洗・受堅を、マルコ A.Tさんが受堅のお恵みを頂かれました。



40年前に、浜寺教会で結婚式をあげられたそうです。

「感謝！」を繰り返され、感動が伝わってくるご挨拶でした。

共同体として一緒に歩んでまいりましょう。よろしく願い申し上げます。

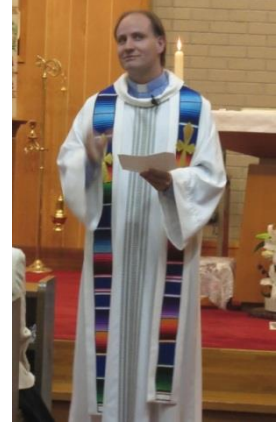
<カルロス神父様 お元気で>

復活徹夜祭は 異動されるカルロス司祭の最後のミサでした。いつものように、力強く 共同体としてのあり方を お話くださいました。

都会の教会は、いずみブロックとは違う、関わりあい方があるでしょう。

持ち前のパワーと明るさで、頑張っていたきたいです。

私達も、時には、サクラファミリア(梅田教会)へご機嫌伺いに 行きましょうか・・・♪



「いずみブロックの為にカルロス神父から最後の言葉です。」 (2019. 4. 21 浜寺教会、徹夜祭にて)

いずみブロックに着いて最初のミサから、ミサ中に平和の印を交す時、私はあなたがたに近づきました。

私はこの印を通して、形ではなく、私・カルロス神父の心を表したかった。イエス様のように私はあなたがたの人生に近づきたかったのです。けれどいつもいろいろな反応がありました。「あなたの情熱を感じます。」「時々あなたの説教を通して、私たちはやけどしてしまいます。」「あなたの瞬発力を感じました。」このような感想を聞きました。あなたがたからすると、私は台風のようなようだったかもしれません。

この3年にわたって、心に残っている思い出が多くあります。日曜日のミサ、勉強会、病人訪問、堅信のリーダー達の会議、黙想会、共に歩む旅、ちようとうかい、いずみブロック全体の遠足、ガルさんの叙階式、お葬式。信仰を分かち合って、苦しみも分かち合って、本当に一緒に歩むことができました、誠にありがとうございます。

根本的にこの3年にわたって浜寺教会から三つのことを学びました。

一つめ、日本人の心でイエス様に近づくことを学びました。日本人の心で神様の愛を感じられました。あなたがたのおかげで私の信仰を深められました。

二つめ、最初から苦しみました。文化の違い、接し方の違い、人間関係で距離感の違いも認められました。いろいろな態度を理解できませんでした。でも、この体験のおかげで神様は私の謙遜を育てて下さいました。私は人間として、キリスト者として、神父としても成熟することができました。

三つめ、この3年にわたって、私は霊的にいろいろな危機に陥りました。一年前にスペインにいる私の霊的同伴者は私にこの文章を伝えてくれました。「カルロス、あたの信仰を深めるために日本と日本人の現実を100%理解しなくてもいい、100%知らなくてもいい、あなたの使命は日本の人々を愛することです。司牧的実りに関わらず、御旨を行うことに基づいて使命を果たしてください」と。霊的同伴者から伝えられた文章です。

このプロセスを通して、二つの私の深い心からの言葉を述べたいです。

ごめんなさい。赦してください。私はきつい言葉、私の行動と行いを通して、あなたがたの心に被害を与えてしまいました、ごめんなさい。赦してください。私はいつも意識的にあなたがたに成熟して欲しかったのです。

そして、ありがとう。この3年にわたって、村田神父様によって、ガルさんによって、いずみブロックの信者さんたちによって、全ての皆さんに恵みをいただきました事を神様に感謝いたします。

終わる前に二つの願いがあります。

今から、私が移動してからも引き続き、村田神父様を支えてください。彼を見守ってください。お願いします。
そして新しくやって来るジュアン神父様を、優しい心で迎え入れてください。彼を支えてください。
彼を手伝ってください。

この3年間は忘れがたい体験になりました。私の家はあなた方の家です。本当にありがとうございました。

5月の各種集いの案内

- ◇ 聖書のかち合い(Fr.村田) …… 第1、3金曜日 19:00 : 浜寺教会
- ◇ 「聖書 100 週間で読む」集い(Sr.ルイザ) ……毎週土曜日 14:30 : 和泉教会◇

5月の主日ミサ担当一覧	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
5日 復活節 第3主日	ベスコ	インターナショナルミサ ジュアン (評議会)	村田(評議会)
12日 復活節 第4主日	ジュアン(評議会) ポルトガル語(マルコ)11時	ベスコ	インターナショナルミサ 村田
19日 復活節 第5主日	ベスコ	村田 英語(村田)14時	ジュアン
26日 復活節 第6主日	ジュアン	村田	ベスコ 英語(ジュアン)15時

◇毎週土曜日 19:30 主日前晩のミサ(和泉)

◇平日のミサ 浜寺 : 火曜日(毎週) …9:00
木曜日(第2, 4)…9:00
金曜日(毎月第1)…9:30
和泉 : 月曜日(毎週) …19:00
金曜日(毎月第1)…9:30
岸和田 : 木曜日(毎週)… 9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日…11:00(浜寺)

◇英語ミサ 毎月第3日曜日…14:00(和泉) 毎月第4日曜日…15:00(岸和田)

◇インターナショナル ミサ 毎月第1日曜…9:30 (和泉) 第2日曜…9:30(岸和田)

5月の奉仕者当番表

典礼奉仕について都合の悪い方は必ず典礼委員までご連絡ください。

	先唱	侍者	第一朗読	第二朗読	名札受付 共同祈願	掃除当番	お茶当番
	聖体奉仕						
5日					青少年	塚	高石
12日					広報		泉大津③
19日					評議会	高石	塚②
26日					典礼	泉大津	高石

※一緒に祈りませんか…5月25日(土)14時～浜寺教会 「イエスの約束」… Fr.留永久照